

対象国	調査	趣旨・概要
ベトナム	農産物・食品に関する規格・認証調査	第4回日越農業協力対話において「日越農業協力中長期ビジョン」を踏まえて締結された「ベトナムにおける農産物・食品の品質に関する規格・認証の活用に向けた協力覚書」に基づいて、ベトナムにおける農産物・食品に関する規格・認証にかかる現状を把握し、課題を分析するとともに、日本発の規格・認証の導入及び認知度向上を図るための方策を検討する。
インド	①インド進出マニュアルの作成 ②マスター・プラン・モデルの作成	①日系食品関連企業の進出促進のため、以下の調査をとりまとめ、進出マニュアルを作成。 ・進出先となり得る都市を複数選定した上で、都市毎の顧客層のボリュームや、インフラの整備状況等に加え、ベジタリアン比率や宗教上の戒律等のインド特有の事項を調査 ・インド進出の際に実際に遭遇し得る具体的な事象の予見可能性を高めるため、既インド進出の日系食品関連企業へのヒアリング等を通じ、インド進出に当たっての非関税障壁・投資障壁及びそれらの克服策等を調査  ②日本の技術を活用したFVCを推進するため、個別の州(AP州を想定。同州とは調査を円滑に進めるための覚書を締結予定。)を対象にマスタープラン素案を作成。その妥当性を検証の上、最終的には他州にも適用可能な汎用性の高いマスタープランモデルを作成する。AP州を対象としたマスター・プラン素案は、平成30年度中に同州と合意する予定。
ケニア	官民ミッション事前調査及び派遣	我が国の農林水産業・食品関連企業の事業展開の可能性があると見込まれる分野を調査・特定した上で、ケニアとの農業協力対話(7月頃を想定)と同時期に官民ミッションを派遣(1回)する。
中東	①サウジアラビアにおける日本企業の参入有望分野に関する調査 ②官民ミッション派遣(サウジアラビア・UAE)	①昨年度実施したサウジアラビアの農業・食品分野の現況調査を踏まえ、日本企業が参入する可能性があると見込まれる特定分野(節水型施設園芸、水産養殖、健康食品等)の調査を実施する。 ②サウジアラビア及びUAEに我が国の農林水産業・食品関連企業を主体とする官民ミッションを派遣(1回)する。

対象国	調査	趣旨・概要
ブラジル・エクアドル	<p>①ブラジル北部・北東部(マトピバ4州及びマットグrosso州)における穀物輸送インフラ整備に向けた調査</p> <p>②エクアドル産カカオ豆の残留農薬問題調査</p>	<p>①マトピバ4州及びマットグrosso州の農業開発状況、これらの州が投資を呼び込むために行っている取組、日本企業の同地域への投資状況、同地域での穀物輸送インフラ整備に係る課題について調査を行う。</p> <p>②エクアドル産カカオ豆の残留農薬問題について、その原因を明らかにするとともに、解決手法の検討を行う。</p>
豪州	<p>①日系企業等の投資機会の促進調査</p> <p>②北部豪州を中心とした生産者の育成・確保</p> <p>③豪州市場における和食・日本食の普及</p>	<p>① 北部豪州地域を中心に、北部準州、クィーンズランド州及び西オーストラリア州各州と締結した協力覚書に基づき、日系企業等の現地生産に向けた取組が進展するよう試行栽培計画の作成や実行に取り組む。</p> <p>② 豪州農業TAFE(職業訓練プログラム)への日本式農業プログラムの組み込みを追求し、課題を整理する。</p> <p>③ 和食TAFEの具体的な検討を行った上で、試行的プログラムを実施し、日本食調理師の育成に向けた現実的な課題を明らかにする。</p>
ロシア	<p>①ロシア極東官民ミッションの派遣</p> <p>②ロシア規制等詳細調査</p>	<p>① 我が国の農林水産・食品関連企業のロシア極東への事業展開を推進するため、ロシア極東地域への官民ミッションの派遣(2回)、国内セミナーの開催(2回)を実施する。</p> <p>② 我が国の農林水産・食品関連企業がロシアで事業展開する上で課題となっている規制等の障壁を詳細に分析し、改善提案を策定する。また、ロシア農業省が計画している極東での物流ハブ計画や極東の農地開発について、詳細情報を収集し、日本企業の参画可能性を調査する。</p>
ウズベキスタン	案件化調査	ODA案件の形成を促進するため、野菜、果樹分野を中心とした生産・加工・流通の現状調査等を実施する。
各地域	フードバリューチェーン構築推進検討業務	GFVC戦略に基づくこれまでの取組状況、各国・地域への我が国食関連企業の進出状況、各国・地域の農林水産・食関連の最新データ・動向等を整理し、それぞれの国・地域において、我が国食産業の事業展開、フードバリューチェーンの構築を更に推進していくに当たり、優先的に対応すべき課題及びその対応方針等を検討・整理する。